

**【表紙】**

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月13日
【会社名】	東邦亜鉛株式会社
【英訳名】	Toho Zinc Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 丸崎 公康
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【電話番号】	東京(6212)1711(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 田邊 正樹
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【電話番号】	東京(6212)1711(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 田邊 正樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 東邦亜鉛株式会社大阪支店 (大阪府中央区今橋三丁目3番13号)

## 1【提出理由】

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### 1．当該事象の発生日

2020年2月10日

### 2．当該事象の内容

当社の連結子会社である豪州鉱山会社CBH Resources Ltd.（以下「CBH社」という）において、運営するラズプ鉱山の今後の操業状況を見直した結果、固定資産の回収可能価額（時価）が帳簿価額を下回る結果となり、2020年3月期第3四半期（CBH社は12月決算のため、同社における2019年1月から2019年9月の期間に相当）において1,908百万円を減損損失として特別損失に計上しました。

市況前提を当初見込みより保守的に見直したことや、足許の買鉱条件が（鉱山にとって）悪化しているといった外的要因に加え、採掘計画の下方見直しもあり、将来見積キャッシュ・フローが大幅に減少してラズプ鉱山の固定資産の回収可能価額が毀損し、減損損失の計上を余儀なくされました。

### 3．当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2020年3月期第3四半期において、下記のとおり減損損失を特別損失として計上しました。

減損損失 1,908百万円

以上